

大阪音楽大学

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	大阪音楽大学（学部・学科等の課程）				設置者名	学校法人 大阪音楽大学			
学部・学科等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況（令和５年度）			
学部	学科等	設置年度	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
							実数	個別	
音楽学部	音楽学科	平成24年度	220人	中一種免（音楽）	令和元年度	169人	54人	53人	16人
				高一種免（音楽）	令和元年度			54人	
入学定員合計			220人	合計		169人	54人	107人	16人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、令和６年４月１日現在の名称・定員を記載してください。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数を記載してください。								

実地視察大学の概要

大学名	大阪音楽大学短期大学部（学科等の課程）				設置者名	学校法人 大阪音楽大学			
学部・学科等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況（令和５年度）			
学部	学科等	設置年度	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
							実数	個別	
	音楽科	平成21年度	100人	中二種免（音楽）	令和元年度	65人	7人	7人	2人
入学定員合計			100人	合計		65人	7人	7人	2人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、令和６年４月１日現在の名称・定員を記載してください。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数を記載してください。								

大阪音楽大学

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている専攻等の概要

大学名	大阪音楽大学（専攻科の課程）				設置者名	学校法人 大阪音楽大学			
学部・学科等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況（令和5年度）			
研究科	専攻等	設置年度	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
							実数	個別	
音楽専攻科	作曲専攻	昭和42年度	1人	中専修免（音楽）	令和元年度	0人	0人	0人	0人
				高専修免（音楽）	令和元年度			0人	
	声楽専攻	昭和42年度	5人	中専修免（音楽）	令和元年度	7人	2人	2人	1人
				高専修免（音楽）	令和元年度			2人	
	器楽専攻	昭和42年度	14人	中専修免（音楽）	令和元年度	23人	11人	11人	6人
				高専修免（音楽）	令和元年度			11人	
入学定員合計			20人	合計		30人	13人	26人	7人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、令和6年4月1日現在の名称・定員を記載してください。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数を記載してください。								

大阪音楽大学

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている専攻等の概要

大学名	大阪音楽大学大学院（研究科・専攻等の課程）				設置者名	学校法人 大阪音楽大学			
研究科・専攻等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況（令和5年度）			
研究科	専攻等	設置年度	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
							実数	個別	
音楽研究科	作曲専攻	昭和43年度	2人	中専修免（音楽）	令和元年度	1人	0人	0人	0人
				高専修免（音楽）	令和元年度			0人	
	声楽専攻	昭和43年度	4人	中専修免（音楽）	令和元年度	4人	1人	1人	0人
				高専修免（音楽）	令和元年度			1人	
	器楽専攻	昭和43年度	7人	中専修免（音楽）	令和元年度	9人	2人	2人	0人
				高専修免（音楽）	令和元年度			2人	
入学定員合計			13人	合計		14人	3人	6人	0人
備考	・「研究科・専攻等の名称等」欄は、令和6年4月1日現在の名称・定員を記載してください。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各専攻等の実人数、「個別」欄は各専攻等内の教職課程ごとの人数を記載してください。								

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：令和6年12月4日（水）

実地視察大学：大阪音楽大学・短期大学部（実地）

【全般的事項】

○教員養成に関する教育課程、教育研究実施組織等については、全般的に基準を満たしており、良好に実施されている。引き続き、教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

○教員養成に対する明確な理念を挙げているが、その目標を具体化するために、今後とも教職課程に対する全学的な組織の在り方の検討及び教職課程や教員組織がより一層充実したものとなるよう努めていただきたい。

2. 教育課程、履修方法及びシラバスの状況、教員組織

○教職コアカリキュラムを踏まえてシラバスが作成されているか点検する体制が確立されていることが確認できた。
○今後は、教職だけでなく、教科を担当している教員も含めた全学的な教職課程の運営体制を検討いただきたい。
○教職課程に関するFDだけでなく、SDについても、今後充実することを期待する。

3. 教育実習の取組状況

○教育実習については、丁寧な巡回指導を行っていることが確認できた。
○教育実習は、大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から、遠隔地の学校や学生の母校における実習ではなく、可能な限り大学が所在する近隣の学校において実習校を確保することが望ましい。なお、学生の負担軽減等の観点からやむを得ず遠隔地の学校や学生の母校における実習を行う場合においても、実習先の学校と連携し、大学が教育実習にいっそう関わる体制を構築するとともに、実習期間中の学生への適切な指導方法、公正な評価が保証されるよう、今後とも努めていただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

○短期大学部も含め、学生の実情に応じた丁寧な教職指導が確認できた。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

○地域の学校等における「サウンドスクール事業」や学習ボランティア等への取組の実績は確認できたが、今後、教育委員会等と一層連携し、学生が早期の段階から学校現場に触れる機会を増やしていくことを期待したい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

○施設・設備については、十分に整備されている状況が確認できた。

○学生が最新の知識を得られるよう、教職課程に関する理論的な図書についても、今後充実を期待したい。

7. その他特記事項

○大学の教員養成に対する理念を踏まえ、課題解決型の教育実習を行っている点や、履修カルテを活用している点について評価できる。